

# 教えて！ 行方市フォント

行方市は、市制施行 20 周年記念事業として、行方市らしさを表す「行方市フォント」を決める取り組み「行方市フォントプロジェクト」を、フォントメーカーである株式会社モリサワと協力して、実施しました。

皆さんに愛される「行方市フォント」を目指して、制定までのストーリーをご紹介します。



株式会社モリサワ  
マーケティング統括部  
インサイドセールス課  
縄田 萌 さん



行方市  
企画部魅力発信課  
シティプロモーショングループ  
藤田 彩海

## #3 みんなで選んだ「行方市フォント」

### 1 “行方市さん” はどんな人？

小学生の考える「行方市らしさ」は、どんなものなのでしょうか？



前回紹介した職員ワークショップで出た意見をもとに、目指す「未来の行方市像」を切り口として、行方市らしさを表現する 4 つの候補書体を選定しました。

#### ◆ 4 つの候補書体と込められたテーマ（未来の行方市像）

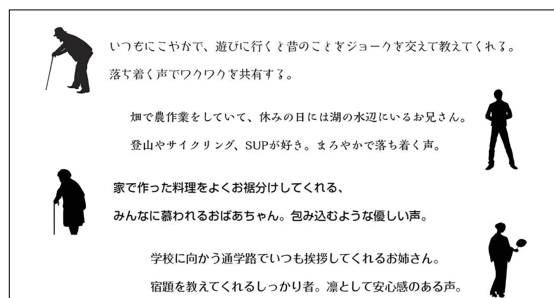
はせミン：歴史・伝統を大切にする／日常に学ぶ楽しさがあるまち  
解ミン 宙：自然と調和する／自然の豊かさと共存するまち  
ソフトゴシック：やさしさが交わる／ぬくもりがあふれるまち  
フォーク：支えあい見守る／支えあって暮らせるまち



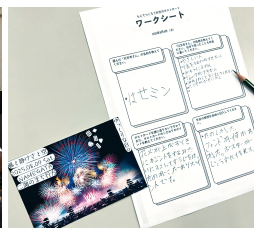
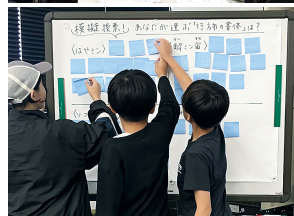
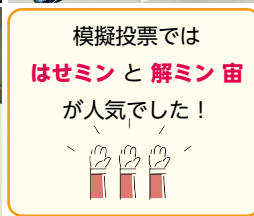
フォントの面白さに触れるワークショップを通じて、小学生に“行方市さん”の声を考えてもらいました

この 4 書体をもとに、市内の小学生を対象とした体験型ワークショップを開催しました。

皆さんにはまず、フォントのことをもっと身近に感じてもらうために、配られた文房具や雑貨の中から、特定のフォントを探してもらいました。フォントに触れてもらった後は、「もし“行方市”が人物ならどんな声をしている？」という問いかけから、それぞれの書体を持つ印象とキャラクター（凛として安心感のあるお姉さんなど）を結び付け、ポストカードづくりや模擬投票を行いました。



▲ 行方市フォント候補の 4 書体をイメージしたキャラクター



▲ ワークショップの様子

### 2 未来を担う子どもたちと決めた「行方市フォント」

いよいよ、中学生の投票により「行方市フォント」が決定します。

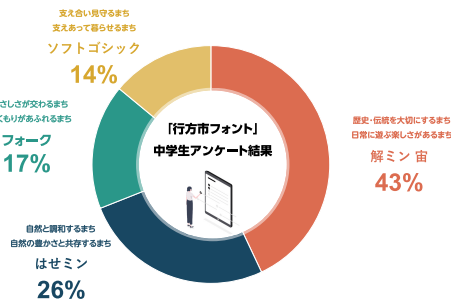


市職員向けワークショップでの候補書体選定、小学生による模擬投票を終え、いよいよ最後のステップです。市内の中学校に通う 1～3 年生を対象に、行方市フォントを決めるための投票を行いました。



行方市フォントプロジェクトは、行方市らしさを考えることで市の魅力を再発見し、継続的な活用を通じて、まちへの愛着や誇り（シビックプライド）を育むことを目指して始めました。そのため、小学生・中学生に「未来の市民代表」として参加してもらいたく、最終投票を中学生の皆さんにお願いしました。

結果、行方市フォントは「解ミン 宙」に決定しました。中学生のコメントからは、行方市といえば、霞ヶ浦や筑波山といった、身近な自然を思い浮かべるといった意見が多く見られました。



自然と調和するまち / 自然の豊かさと共存するまち

「解ミン 宙」に決定！  
(行方市フォントのベースとなる書体)

今回は、行方市フォントのこれからについてお話しします。